

**今月の一言** 気候風土に和した環境コンシャスな「街づくり」・「建築づくり」は都市の風景を再生・創造すると確信します。「街」があって「建築」がある。「建築」があって「街」がある。今こそ、両者の融合が重要と考えます。  
(松縄 堅)

## Topics

- 日建設計グループ / 5月27日に中国大連市で、現地法人「日建設計・大連」の設立を記念し、中国建築学会許副理事長他をスピーカーに迎えて、「環境とまちづくり」をテーマに日建設計主催のシンポジウムを開きました。
- 各電力会社主催の蓄熱関連フェアが、以下の日程で東京・名古屋にて開催されます(大阪・関西電力は終了)。日建設計も出展し、そのブース内でNSRIの紹介を行う予定です。  
(東京・東京電力) 7/26~28・東京ビッグサイト(予定) (名古屋・中部電力) 8/23~25 吹上ホール(予定)

## 話題のテーマ

近年、地球環境や都市環境に関するさまざまな問題が社会の関心を集めています。この欄では、こうした都市や環境・エネルギー分野で今話題となっているテーマを取り上げ、その動向とNSRIの取り組みを紹介していきます。

### <建築物総合環境性能評価システム：CASBEE>

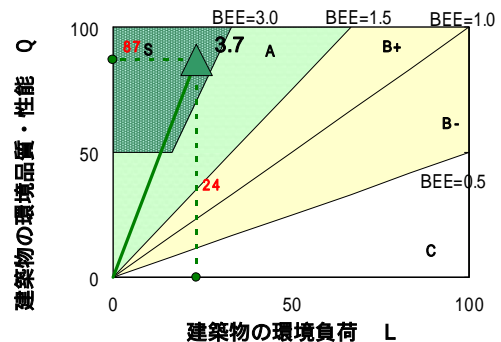
**CASBEE とは・・・** CASBEE (建築物総合環境性能評価システム; Comprehensive Assessment System for Building Environment Efficiency) とは、建物を環境や省エネルギー上の観点から評価し、定量化する評価システムです。地球温暖化対策の一環として、国土交通省住宅局の支援の下、産官学連携の「建築物の総合的環境評価研究委員会(委員長: 村上周三慶応義塾大学教授)」の活動の成果として、サステナブル建築の普及促進を目的に開発されました。これらの評価やその結果の公表はサステナブル建築を市場に普及していく有望な方策の一つとして、建築のステークホルダーから広い関心を集めています。今後は日本においても、CASBEEによる格付けが建物の資産価値を評価する指標の1つとして採用されていくことが想定されています。

**CASBEEによる評価・・・** CASBEEでは、建築の環境性能に係る評価項目群を「Q. 建築物の環境品質・性能」と「L. 建築物の外部環境負荷」に分類し、各項目に独自の重みを付けることで、QとLを100点満点に採点します。このQとLのバランスをBEE(環境性能効率、 $= Q/L$ )という指標でランキングし、環境性能を定量的に評価します。

**CASBEEファミリー・・・** CASBEEは、建築物をライフサイクルにわたって評価して行く事を目的に、新築、既存、改修用の評価ツールが開発されている他、建築計画のヒートアイランドの抑制効果に特化したツール(CASBEE-HI)や、街区/地域に特化したツールなど様々な計画への利用に対応した展開を見せています。

### NSRIでは・・・

まちづくりの取り組みを品質や負荷低減などの多面的な観点から評価する際に、CASBEEを利用しています。建築計画だけでなく、今まで定量的な評価が困難であった都市計画等にもこれを適用し、CASBEEの評価結果の高い街づくりを提案していくことで、持続可能な建築、地域、街づくりの普及に貢献していきたいと考えています。



ゲートシティ大崎での評価事例 (CASBEE 既存、IBEC 認証取得)  
NSRIにはこのCASBEEの開発に関わるメンバーのみでなく、多くの評価委員を抱えておりますので、お気軽にご相談下さい。

## 定期配信をご希望の方

定期配信を御希望の方は、下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

(chihiro.kimura@nikken.co.jp 担当: 木村千博)

## 編集後記

VIEWは、第2号からNSRIの取組を順次ご紹介していきます。ご意見、ご要望等がございましたら左記のメールアドレスまでお寄せください。NSRIが八重洲オフィスで始動し2ヶ月がすぎました。オフィスではおいしいコーヒーも飲めるようになりましたので、どうぞお立ち寄りください。(K)